

昭和四十一年五月

伏見宮本樂書展示目錄

一 琵琶關係 一

宮内庁書陵部

(一) 琵琶譜 (色紙)

平安中期写 一卷

(本奥書)

開成三年九月二十九日 判官藤原貞敏記

(二) 琵琶諸調子譜 (色紙)

平安中期写 一卷

(三) 琵琶譜

南北朝期写 一卷

(本奥書)

治曆五年三月廿六日於東山書了 僧院禪

(四) 琵琶譜 (飛雲紙)

源經信筆 一卷

(奥書)

応保三年自禪閣所下」賜也、帥大納言經信卿自」

筆二條殿御物也、可秘藏 (兼実) (花押)

(五) 三五要録樂目録

鎌倉期写 一卷

(本奥書)

承元五年三月六日、於仁和寺」鳴滝亭書寫了、同八日校了、同」
九日又校了、同十日又校了 在判

(六) 三五要錄 (寄合書) 鎌倉期写 十二卷

卷一筆者 伝鷹司兼平 卷二筆者 伝藤原孝頼

卷三筆者 伝中院具氏 卷四筆者 伝高辻長雅

卷五筆者 不明 卷六筆者 藤原孝重^力

卷七筆者 不明 卷八筆者 伝藤原孝時

(卷八奥書)

承元二年七月卅日、於持明院殿馬場宿所書写了「校了」 在判
承元三年三月十一日、此卷「懽受了」 孝時

卷九筆者 伝忠雄 卷十筆者 伝範藤

卷十一筆者 伝世尊寺經朝 卷十二筆者 不明

(七) 三五要錄 卷二 正平廿年写 一卷

(奥書)

此卷秘事口伝、至啄木調并裏書三ヶ条「奉授」今上既訖、加之
重々秘説等

諸曲之秘説、一流之「口伝、悉申入之畢

正平十年四月八日 法印良空

(朱筆)

正平廿年為余本書寫之畢

(八) 三五中錄 卷一・十

西園寺実兼筆

二卷

(兩卷奥書)

嘉元三年七月 日、為与孝重、令「書寫之訖

空性(花押)

(九) 三五中錄 卷四・十二

花園天皇宸筆

二卷

(卷十二奥書)

此者元德年中余為練習、以今出河前右大臣所持後西園寺入道太政大臣筆譜書寫之

(一〇) 琵琶秘曲伝受

(1) 啄木調

藤原師長筆原本

一卷

(奥書)

件曲於本尊宝前、伝「授左近衛権少將藤原」定輔朝臣了

文治三年二月廿一日

妙音院樂人(師長)
(花押)

上原石上流泉譜

藤原師長筆原本

一卷

(奥書)

文治五年閏月九日、於「天王寺西僧房、伝授」修理大夫藤原定輔」

朝臣了」妙音院樂人
(師長)
(花押)

(2) 三極秘曲譜

藤原定輔筆原本

一卷

(啄木裏書)

件曲伝授右近衛權少将「藤原兼輔朝臣了

嘉禄三年七月三日」
沙弥 (定輔)
(花押)

(奥書)

已上五ヶ曲等 啄木 石上流泉 上原石上流泉
楊真操 同綏説「弘底授兼輔了、伝授
日々在別記」 (定輔)
(花押)

楊真操

藤原定輔筆原本

一卷

(奥書) (定輔)

授兼輔了 (花押)」
嘉禄二年八月廿九日

石上流泉

(奥書)

右曲授兼輔了、嘉祿二年「十二月廿一日」(定輔)
(花押)

上原石上流泉

(奥書)

右曲嘉祿三年二月八日、授右近「少將藤原兼輔了」(定輔)
(花押)

風香調撥合

(奥書)

藤原定輔筆原本

一卷

嘉祿三年二月八日授兼輔了

(3) 風香調撥合 楊真操

(奥書)

弘安九年六月十八日、奉授「東宮訖

正二位行權大納言兼大夫藤原朝臣」(実兼)
(花押)

西園寺実兼筆原本

一卷

啄木調

(奥書)

弘安九年六月廿日、奉授「東宮訖
正二位行權大納言兼大夫藤原朝臣」(実兼)
(花押)

西園寺実兼筆原本

一卷

石上流泉 上原石上流泉

西園寺実兼筆原本

一卷

(奥書)

右流泉兩曲奉授「今上詔」

正応四年十一月卅日「從一位藤原朝臣」
(実兼)(花押)

(4) 三曲 秘譜

藤原孝時筆原本

一卷

(奥書)

正元々年十月廿七日

沙 孝時法師
弥智西 (花押)
法深房

(5) 三曲 秘譜

源兼親筆原本

一卷

(奥書)

右三曲 或号之
五曲 併奉授「今上既詔、殊至啄木者、曾他流不伝事」等有之故、孝

道曰 本譜啄木有最秘説、委「授播磨局畢、未授他人云々、凡三ヶ条之」秘事、
裏書注之

七重之口決乃至唯授一人之極説「悉申入之畢」

(兼親)

正平十年四月八日

法印良空

(花押)

(二) 琵琶 系 図

鎌倉 期 写

一卷

